

第9回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：瑠璃

【日時】

1月23日(月) 19:00~21:15

【場所】

荒川区役所 議員待遇者室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：今日の話し合いの結果を確認しよう

ステップ2：最終報告のとりまとめ

ステップ4：その他

ステップ1：はじめに

コンサルタントより、前回の議論の確認と今日の議論の進め方について説明がなされた。

ステップ2：最終報告のとりまとめ

資料の確認をしながら委員の意見を伺い、修正をした。

【1. 荒川区の課題について】

- 「産業」に荒川独自の産業があるということをもっとPRしたらどうか。
- 荒川区のHPでの取り組みに関して、「情報発信」にマイナス面だけではなく、現在取り組んでいる課題などプラス面を入れてみてはどうか。
- 「1. 荒川区の課題」と「4. イキ！な荒川区プラン」の内容を対応させる。
- 今まで議論した分野ごとの課題を表としてまとめて載せる。

【2. 荒川区を変えるキーワードについて】

- 図を目立つようにはっきりとさせる。
 - 「イメージ1」、「イメージ2」は特に意味がないので削除する。
 - 「キーワード：粋(イキ)」を大きくし目立たせる。
 - 白黒でもわかるように図形をはっきりさせる。
- 図の題は「粋の定義」ではなく、「荒川区の定義」の方が良いのではないか。
- 枠内の「粋」の定義(広辞苑)と別枠で「荒川区の粋」の定義を入れ並立させる。
 - 荒川区の粋の定義については提案者委員に確認する。

【3. 荒川区を変えるストーリーについて】

- 5ページ「2. 荒川区を変えるキーワード」と6ページ「3. 荒川区を変えるストーリー」を逆転させる。
- 5・6ページを逆転させるため「荒川区のストーリー」では「イキ(粋)」という表現を使わずに説明する。
- 図中の「キーワード:粋(イキ)」を大きくし目立たせる。

【4. イキ！な荒川区プランについて】

- 大きい図のみにする。

- 8ページからの「5. イキな荒川区プラン」と順序を対応させる。
- 【生】:「住み心地の良い東京の田舎」を「人情味あふれる生活の場」とする。
- 【憩】:「荒川に来るとホッとする」を「ホッとひと憩」とする。
- 【活】:「昔からの知恵と技はすごい」を「昔からの知恵と技を活かす」とする。
- 【粹】:「下町らしいおしゃれで暮らす」を「下町らしい粋なスタイル」とする。

【5. イキな荒川区プランについて】

- (グループでいままでにでた/討論した意見)と(委員A)を統合させる。
- 4ページ「1. 荒川区の課題」と対応させる。「教育」に「区外流出の対策」、「福祉」に「交通バリアの対策」を追加する。
- 【活】「・荒川区PRプロジェクトの実施」の「世代別区報発行・区報のメルマガ化」を【生】に移す。
- 【生】「・隅田川を環境文化の学習の場にし、「川の手」の文化向上を図る」を【憩】に移す。
- 【憩】「・3区(荒川、文京、台東)芸能・文化伝統を合わせた観光ルートの開発と地域バスの連携、バスの運行、～」とする。
- 【憩】「・第3江戸東京たてもの園」に伝統木造家屋だけでなく、「使用されなくなった価値のある伝統建物を移す」ことを記述する。
- 【粹】「ファッション」を「スタイル」とする。
- 【活】「～工房を設け製品をつくり、その収益で学校運営や後継者育成に役立てる」とする。
- 【活】「・荒川PRプロジェクトの実施」の「荒川Bizポータルサイトの設立」の箇所を、「現存している荒川ショッピングモールと上手くコラボレートし活用する」という内容にする。
- 記述の順序は、【域】、【生】、【活】、【憩】、【粹】とする。
- 9・10ページの表題は外す。

【6. イキ!な荒川区実現のために】

- 図の文言を前と整合させる。
- 「観光客が繋がる」を接点とし、「イキな心復活プロジェクト」と「荒川PRプロジェクト」をつなげて図を作成する。

ステップ3: 今日の話し合いの結果を確認しよう

今日の話し合いを基に、最終報告に向けた資料の修正を1月27日までに委員に送付し、意見、修正があればご指摘して頂く。寄せられた意見を元に修正された最終的な資料を、1月30日までに発表担当委員に送付する。

ステップ4: その他

【提言報告会の日程】

2月5日(日)10:00~

以上